

科目名	共生社会入門 1Aクラス		
担当教員名	吉田 亨		
ナンバリング	NEd1023		
学科	2020～2021年度 大学 教育人文学部 幼児教育学科 1年／2020～2021年度 大学 教育人文学部 児童教育学科 1年／2020～2021年度 大学 教育人文学部 心理学科 1年／2020～2021年度 大学 人間生活学部 健康栄養学科 1年／2020～2021年度 大学 人間生活学部 食物栄養学科 1年／2020～2021年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 芸術・文化コース 1年／2020～2021年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・介護コース 1年／2020～2021年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 多文化・共生コース 1年／2020～2021年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・保育コース 1年／2020～2021年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 日本語・日文コース 1年／2020～2021年度 大学 人間生活学部 食品開発学科 1年／2020～2021年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年		
学年	1年	開講期	2021年度前期
授業形態	講義	単位数	2単位

実務経験の有無	無
実務経験および科目との関連性	無

ねらい	
①科目の性格	1年前期と後期に開講される、共通科目「社会に生きる」の選択必修科目。
②科目の概要	「共生」という概念がどのように作られ、広がってきたかを、自然環境との共生、多文化共生、障がい者と非障がい者の共生、地域共生社会をキーワードに、主体的に学んでいく授業である。
③授業の方法（ALを含む）	講義や発表の回では、リアクションペーパーを利用する。授業の間では、論述型レポートを作成し、プレゼンテーションを行う。リアクションペーパー／レポート／プレゼンテーション
④到達目標	1. 「共生」の概念について説明できる。 2. 論述型レポートの作成方法を説明できる。
⑤ディプロマ・ポリシーとの関係	この科目は、共通科目のディプロマ・ポリシーの以下の資質・能力を育成することを目的とする。 ⑥-3グローバルマインド ⑥-4未来を創造する力

第1回		
事前学習		90分
授業内容	「共生」概念とその広がり	
事後学習・次回事前学習		180分
第2回		
授業内容	自然環境との共生	
事後学習・次回事前学習		180分
第3回		
授業内容	多文化共生	
事後学習・次回事前学習		180分
第4回		
授業内容	障がい者・非障がい者の共生	
事後学習・次回事前学習		180分
第5回		
授業内容	地域共生社会	
事後学習・次回事前学習		180分
第6回		
授業内容	共生社会の実像を探る	
事後学習・次回事前学習		180分
第7回		
授業内容	共生社会の課題を探る	

事後学習・次回事前学習		180分
第8回		
授業内容	共生社会の未来を描く	
事後学習・次回事前学習		180分
第9回		
授業内容	中間まとめ	
事後学習・次回事前学習		180分
第10回		
授業内容	自然環境との共生(実像・課題・未来)	
事後学習・次回事前学習		180分
第11回		
授業内容	多文化共生(実像・課題・未来)	
事後学習・次回事前学習		180分
第12回		
授業内容	障がい者・非障がい者の共生(実像・課題・未来)	
事後学習・次回事前学習		180分
第13回		
授業内容	地域共生社会(実像・課題・未来)	
事後学習・次回事前学習		180分
第14回		
授業内容	日本社会の現状とグローバリゼーション(「社会に生きる」共通授業内容)	
事後学習・次回事前学習		180分
第15回		
授業内容	持続可能な社会のための課題と取り組み(「社会に生きる」共通授業内容)	
事後学習		90分

フィードバック	リアクションペーパーに記載された学生からの質問には、次回の授業で、出来る限り回答する。
評価方法および評価の基準	「共生」のトピックについて、各自がPowerPointで作成した論述型レポートと、その発表で主に評価する。この論述型レポートとその発表が70%、「社会に生きる」共通内容のレポートが20%、平常点が10%。総合評価60%以上を合格とする。

教科書	
推薦書・参考文献	
資料を配付する。	

履修上の助言、教員からのメッセージ	
-------------------	--